

今後の進め方について

令和 7 年 5 月 14 日

現時点でのスケジュール

- 「進捗管理・点検・評価表」の策定をはじめとした経済・財政一体改革推進委員会及び各WGでの議論の内容については、今後開催される経済財政諮問会議へ報告し、年央の骨太方針に反映。
- その後、本年7～8月に、EBPMアドバイザリーボードを開催。引き続き、EBPMをはじめとする関連の取組を推進。

5月14日

経済・財政一体改革推進委員会
EBPMアドバイザリーボード

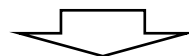


経済財政諮問会議

- ・「進捗管理・点検・評価表」の決定
- ・その他WGにおける議論



骨太方針2025

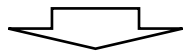


予算の全体像

7～8月

EBPMアドバイザリーボード

- ・「EBPMアクションプラン」の進捗確認
- ・EBPM強化のための課題への対応



秋以降

経済・財政一体改革推進委員会
・各WGを順次開催

- ・「EBPMアクションプラン」の見直し・強化の方針の決定
- ・Well-beingに関する基本計画等の見直しの方向性の決定

年末

「EBPMアクションプラン2024」
「改革実行プログラム2024」等の改定へ

本年末までの検討課題

< EBPM等の強化 >

① 「EBPMアクションプラン2024」、「改革実行プログラム2024」等の分析・検証と改定

- 本夏のEBPMアドバイザリーボードにおいて、関係府省庁から「EBPMアクションプラン2024」の分析・検証の作業につき、進捗状況を報告。
 - 本秋以降に、得られたエビデンスの状況や、今後の分析・検証作業の方針、ロジックモデルや施策の改善について議論。
 - 併せて、スピード感を持った改革の進展に向けての「改革実行プログラム」の点検。
 - その他、春WGなどの積み残しの議論。
- ⇒年末に「EBPMアクションプラン」、「改革実行プログラム」等を改定。

② データ利活用における関係省庁との連携

- これまでの本委員会におけるデータ等の蓄積を活用するため、デジタル行財政改革会議・デジタル庁との連携を推進。
⇒経済・財政と暮らしの「見える化」データベースを改良。
- 行政記録情報も含めたデータ整備。
⇒デジタル行財政改革会議等における議論を踏まえ引き続き検討。
- 「行政事業レビュー」との連携を通じて、データ収集や分析・評価を一体的に推進。
⇒レビューシートのシステム（RSシステム）上で「EBPMアクションプラン」の関連施策を検索可能に。

< Well-beingの視点からの施策の深化 >

- ① 効果測定に当たっての客観的なWell-being指標の充実、主観的指標の検討。
- ② 上記の「EBPMアクションプラン」、「進捗管理・点検・評価表」への反映検討。